

国の機関等による国際会議等の北海道開催実績（令和元年度）

	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	G20観光大臣会合高級実務者級会合（1回目）	観光庁	令和元年 5月24日	倶知安町	G20観光大臣会合において建設的、かつ効果的な議論を行うため、各国の関心事項の収集及びG20観光大臣会合のテーマ等に対する日本側の考え方について議論を行った。	60名
2	「持続可能な観光による地方創生」国際シンポジウム	観光庁、倶知安町	令和元年 5月24日	倶知安町	G20観光大臣会合開催への理解、会合開催後によるレガシー効果を視野に、観光への取組の意義について普及促進を図った。	600名
3	2019年IEEE回路とシステムに関する国際会議	日本学術会議（米 国電気電子学会回 路とシステムソサ イエティ）	令和元年 5月26日～29日	札幌市	「自然と調和した持続可能な社会のための回路とシステム」をメインテーマに、電気・電子回路およびそれを用いて実現されるシステムに関する基礎理論から応用技術まで、幅広いテーマについて研究発表や討論が行われた。	1192名
4	第18回新芳香族化学国際会議	日本学術会議（公 益社団法人日本化 学会及び基礎有機 化学会）	令和元年 7月21日～26日	札幌市	「特異な物性を持つ芳香族化合物の合成化学、構造化学、物性化学」をメインテーマとし、「新規芳香族化合物の電子状態の解明」「外部刺激に可逆的に応答する芳香族化合物」「超分子や分子マシンによる新規な物性の発現」「太陽電池や有機トランジスタなどに関する有機材料化学」を主要題目として、研究発表や討論が行われた。	542名
5	日本進化学会第21回北海道大会	日本進化学会 （共催：理化学研 究所）	令和元年 8月6日～10日	札幌市	日本進化学会大会にて、新学術領域「進化の制約と方向性」企画のシンポジウムを開催。	40名
6	日中韓人事行政ネットワーク第8回トップ会談	人事院	令和元年 9月5日	札幌市	日中韓の中央人事行政機関の長による閣僚級会談。	22名
7	「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第23回会合	外務省（共催： 日・オーストリア 委員会旭川誘致歓 迎実行委員会）	令和元年 9月6日～7日	旭川市	観光と地方経済活性化に関するシンポジウム。	約200名
8	G20観光大臣会合高級実務者級会合（2回目）	観光庁	令和元年 10月25日	倶知安町	G20国間の相互協力を強化するため、世界経済の持続可能な成長に対する観光の重要性をアピールするとともに、雇用、旅行円滑化、持続可能な観光等観光分野の世界的な課題について議論を行った。	72名

	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
9	G20観光大臣会合	観光庁	令和元年 10月26日	倶知安町	G20国間の相互協力を強化するため、世界経済の持続可能な成長に対する観光の重要性をアピールするとともに、雇用、旅行円滑化、持続可能な観光等観光分野の世界的な課題について議論を行った。	210名
10	2019年NIED-TEM-NZ研究交流会「日本-台湾-ニュージーランド 地震ハザード評価」	国立研究開発法人 防災科学技術研究所	令和元年 11月4日～8日	洞爺湖町	地震ハザード評価についての研究交流会。	84名
11	第7回中小企業協力に関する日露会合	中小企業庁	令和元年 12月4日	札幌市	経済産業省と露経済発展省との協力覚書に基づく会合。日露両政府機関による中小企業政策の意見交換のほか、日本貿易振興機構（JETRO）の協力により日露中小企業の交流会（マッチングイベント）を実施。	89名

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。